

役場前の広場

りっぱに生まれ変わる



役場庁舎前の広場が、このほど改装されました。庁舎前の広場は、以前から車の混雑などで改装がのぞまれていましたが、舗装されりっぱに生まれ変わりました。いつもたくさんの車が駐車し、来庁者のかたにたいへん迷惑をかけてきましたが、改装にともない、今後は駐車台数を制限し混雑を防ぎます。また車の出入りをスムーズにするために、出入口の標示もあわせて行なわれました。(改装にともないあたらしく門つくりられ見ちがえるようになった広場)

第2回定例議会

課室設置条例を改正

七月一日から

あたらしい機構に

一般会計補正は五、八八五万円

第二回定例議会は、六月十六日から三日間の会期中で役場議場で開かれ、機構改革を行なうための課室設置条例の全部を改正する条例など一〇の議案が上程され可決されました。

こんどの議会では、まず一般会計補正予算など四つの専決処分の報告があったあと一〇の議案が上程された。二日目は自宅審議。三日目は一般質問があり、審議を重ねた結果、全議案が原案どおり可決されました。可決された議案のあらましは次のとおりです。

課室設置条例を改正

機構改革を実施するために課室設置条例の全部を改

職員の数数を改正

新しい課の新設など機構改革によって、町職員の定数条例の一部を改正、増員しました。

非常勤職員の報酬を引き上げ

八郷町特別職の職員で、非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正をしたもので、選挙の投票管理者らの報酬を増額しました。

八郷町学校設置条例の制定

八郷町特別職の職員で、非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正をしたもので、選挙の投票管理者らの報酬を増額しました。

学校教育法にもとづいて監督庁の定める設備、編成などに関する設置基準にしたがい、これを設置するための条例を制定したものです。

字界の変更

田園都市下青柳モデル集落で、ほ場整備地内の字界が複雑であったのを整理し、大字下青柳字下青柳と変更したものです。

一般会計補正予算

収入 諸収入、町債、繰越金などで五千八百八十五万二千円
支出 参議院議員選挙費四十万円
内政共同出荷促進資金などに七百八十万円
花き優良種苗導入資金として九百万円
しいたけ生産振興資金などに二百三十万円

高野氏が再任

八郷町固定資産評価審査委員会委員の高野庸之助氏が、任期満了となりましたが、議会の同意をえて再任されました。

損害評価委員会に片野の岡野氏

これまで損害評価委員会であった小森幸氏が辞任したため、その後任として片野の岡野正徳氏と農業共済課の職員が議会の同意をえて選ばれました。

田園都市センター

が完成する

竣工式は八月五日を予定

下青柳集落の大きな柱となる、田園都市センターが完成しました。明るく住みよい町づくり



りっぱに完成した田園都市センター集會室、この建物の右側に和室や調理室を備えた建物があります

を「テーマ」に進められてきた田園都市センターは、内装、外装とも工事は終わり、残すは付属設備の充実だけとなりました。なお、竣工式は八月五日

集會室

を予定しており、それまでに備品その他いっさいの付属設備の充実をはかりました。それでは、完成した田園都市センターを紹介しましょう。七〇人程度の集會ができていろいろな講習会や冠婚葬祭の儀式もできるよう設備されています。総面積七五・三六平方メートル

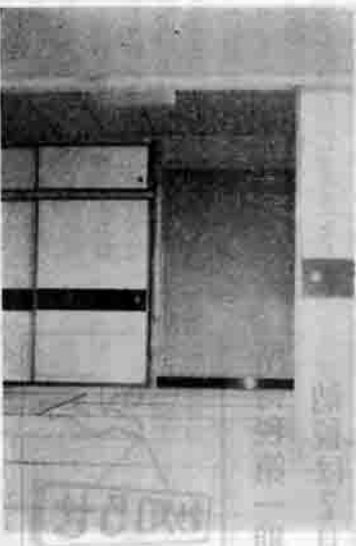
婦人たちの料理講習などに活用されます。また、農繁期などには共同炊事も行なわれます。総面積 19.87 平方メートル

調理室



和室

和風庭園を前にした部屋で、小集會や冠婚葬祭の控室になります。総面積三七・六〇平方メートル



“時間の励行”

會議、話し合いは、必ず予定時間内で終るようにしよう

横断は止まって

よく見て手をあげて

農薬の空中散布 町の全水田に実施する



朝もやをついての空中散布
—瓦谷下宿土地改良区—

ことしも二化メイ虫の空からの駆除を、六月十八日から二十二日までの四日間に行なう予定です。小椋地区をのぞく町の全水田一、八〇〇ヘクタールにおよぶ二化メイ虫の空からの駆除は、昨年と同じペースで進められています。

ミチオン二バートメント粉剤を一〇アル当り三キログラムを散布しました。散布は、一般や農協職員で構成された地区隊員三〇名の協力を得て、四日間三機のヘリコプターを動員朝早くから連続的に行なわれました。

ことしも、昨年と同じ薬剤の同じ量の散布でしたが、農薬改良普及所の調べにより、防除効果は九〇パーセントと良い結果が得られました。



花ひらく国民年金 (7)

日本の人口は老齢化が進んでいるといわれています。また、これから先も老人がどんどんふえていくといわれています。しかも、女子の平均寿命は男子よりも五年も長いといわれています。

重要になる年金制度

核家族化が進行し、扶養意識の面でも、親子とが老人と若者の間にあたらしいルートが芽ばえてきています。すなわち、親は親なりに、子供は子供なりに生活の責任をもつというふうな、あたらしい意識の変化がでてきています。となると、現在のことを、老後のこと

奥さんも

国民年金に

でません。また、夫が死亡したときは夫の年金制度から遺族年金がでますが、その額も夫がうける老令年金にくらべて半額程度しかもらえません。

老後の安心のために

国民年金に加入していれば、母子年金や障害年金が受けられます。国民年金に加入すると、一月四五〇円の保険料を納入しなければなりません。国民年

免除申請について

今年も七月から免除申請の受付をしています。免除申請の内容を説明しますと、収入が少なく生活が困難な人、小さな子どもがたたくさんいたり病人の家族などがいて生活が困難な人で、保険料を支払うことが困難な人たちのために免除制度を設けました。

届出をしないで、保険料を納めませんと年金を受けるときになって困ることがあります。ぜひ届出をしてほしいものです。

第18期老人大学卒業式

47名全員が元気に卒業

第一八期老人大学卒業式は、四十五名のお年寄りたちの出席で六月十五日午前十時から役場議場で行なわれました。四十五名のお年寄りは朝早くから笑顔で役場につめかけ卒業式にのぞきました。



「人生学院」にはいり、勉強をつづけることになっていきます。卒業されたお年寄りが、今後ますます勉強にはげめるよう、あたいたかい目で見守ってやりたいものです。

危険な場所に「立て札」

合計50本を立てる



危険な場所に立てられる立て札 一柴間池

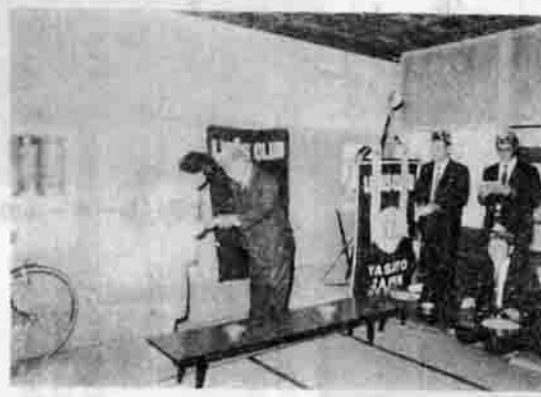
社会福祉協議会では、水によるいたましい事故を防ぐために、ことしも水遊びをしては危険な場所に「あぶない」と書いた立て札を立てました。

全国では、毎年水死事故がたたくさん起き、若い命がうばわれていますが、このような事故を少しでも防ぐため、社会

ライオンズクラブ

3周年を記念し たくさんのお贈りもの

八郷ライオンズクラブ(会長岩本佳之氏、会員三〇名)では、結成三周年を記念し、町内小、中学校の特殊学級生らに、あわせて約二十五万円を贈りました。



今回も三周年を記念して、中学校の特殊学級生八七名に二千元づつの教材費用をまた恋瀬川サイクリング道パトロール用の自転車と交通安全の看板を補助警部派出所へそれぞれ贈りました。

小幡の常光寺さん 子ども用かさを保育所に 小幡稲子の常光寺定治師さんは、小幡保育所に子ども用かさ三〇本(男

女用共一五本)を寄贈しました。子どもたちは、この思いがけない贈りものにたいへんよろこんでおり、雨の日にはさっそく使用していま

真家花組合

役場に300本の菊の花

真家花組合(代表真家幸雄、会員一〇名)では、さきごろ、代表三人が役場をおとすれ、しゃ光栽培をして咲かせた花合計三〇〇本を、庁舎内に



これは、きれいな花をかざりすがすがしい気持ちで仕事をし、明るい町づくりをすすめてほしいというあたたかい気持ちから、おもに盆栽などに東京方面に出荷されている改良品種の花の一部分を町に寄付してくれたものです。この花は、さっそく庁舎内にかざられ、職員たちにたいへんよろこばれました。(代表三人から手渡される菊の花)

- 小幡地区 湯袋ダム、加生野池、片野原、須釜池、石沢池、帆崎原、正神場、何倉津池、小久保留
- 芦穂地区 小屋下の堰、家寺下の池、女堰、小倉公会堂池、鯉岡太田堰
- 恋瀬地区 大家曾田、金ヶ沢十日橋堰、板敷下堰、折戸橋上堰、有明川
- 瓦会地区 佐久の池、佐久の堰、小橋松堰、五本松池宇治会池
- 園部地区 柴間池、全龍寺池、向原下堰、真家貯水池
- 林地地区 上林池、片岡北部

訂正 先月号「明るい窓」の長谷川きんさんの住所は、山崎ではなく真家の誤りにつき、おわびして訂正いたします。



父親は街の工場で働き、母親も内職にはげんで経済は豊かになる。豊かになるとますますはげみがでてくる。ただ心配なのは子ども、そこで不自由はさせたくない。ひもじいためにひとの物を手を取ったりは、子どもはほし物なんでも手にはいって、よそ目にはいかにもうらやましいほどの姿である。それなのにどうしたことか、そうした環境におかれた子どもにも案外非行が多い。

親たちはなに不自由なくしておくのだから、うちの子にかぎってはと考へてくるかもしれないが、青少年の体をむしばみ、神経をいため、精神的に不具にしてしまふ恐ろしいシンナー遊びにふける子どもを補導してみると、そうした家庭環境にあるものが多い。

シンナー遊びは若い青少年の体をむしばみ、ついには心臓発作などでたいせつな生命を失うほどの危険のあることを知っているはずの彼らが、どうしてそれにとりつかれるのか。その中の大部分の者は愛情に対する欲求不満の現われではないだろうか。

この心理は、ちよと赤ちゃんと生まれ、母親はそれだけに目をかけて、上の子に手がまわらないでいると、これまでなかったのに寝小便をはじめると同様、シンナーを吸って無遊病者のように、ふらふら歩くのではないだろうか。

親子

教育長 桜井隆一

推察のとおり、これは金では解決できないことです。彼らは自分の存在を承認してもらいたいのです。この自己承認の欲求は、子どもも抱えもっているが、ただおとなは、幼児のようにあからさまにはなく形を変えて欲求するだけです。それが満たされないと自暴自棄におちいたり、人によってはそれが内攻してもんもんとした毎日を送ったりする場合もあります。

さて、前述のようなことがらを考え合わせ、子どもたちの非行を未然に防ぐためにどうするかを考えなければならぬが、それには、まずわたしたちおとなの姿を立て直す必要があるのではないだろうか。

教育は知識として教える前に感化ということがありおとなの生活がたとえ足らなくても、さ折があってもごまかしのない真剣な生きかたが子どもたちにとって必要なのです。日銭がはいるままにたくさんのこづかいをもたせたり、子どものごきげんとりでごまかした態度をとっている、けっして良い子どもは育たないでしょう。むしろ、是非とききよく教える、留守家庭なら子どもに留守を守る役割を定め、その成果を承認してやったり



夕食のひと時を親と子がその日のできごとを語り合う機会にあて、断絶をさける努力をしなければならぬでしょう。

郡民体育大会

みごとに総合優勝!

町代表チームが大活躍する

県民体育大会の新治郡大会が七月十一日、ぬけるような青空のもとで玉里村の玉里中学校グラウンドを主会場にして開かれましたが、この大会に参加した町選手団は、三〇度を越す炎天下にもかかわらずよく健闘し、みごとに総合優勝をかざりました。

第二五回目をむかえたこの大会には、各町村から選ばれた選手約六〇〇人が参加して開かれ、選手たちは陸上、バレーボール、庭球、卓球、柔道、剣道、弓道の七つの競技にわたり、夏の太陽のもとで若人の力を思う存分に発揮しました。

大会は、午前八時三〇分に開会式が開始され、選手の入場行進のあと、優勝旗の授与式が行われ、大会長あいさつがあり、このあと玉里村選手団代表の選手宣誓でさっそく競技はいり

- (男子)
 - 〇四〇〇メートル
 - ①八郷②出島③玉里
 - 〇一、五〇〇メートル
 - ①八郷②③千代田
 - 〇五、〇〇〇メートル
 - ①玉里②八郷③千代田
 - 〇一〇、〇〇〇メートル
 - ①八郷②出島③八郷
 - 〇八〇〇メートルリレー
 - ①玉里②出島③八郷
 - 〇走り高跳
 - ①八郷②新治③八郷
 - 〇砲丸投
- (女子)
 - ①千代田②出島③八郷
 - 〇三種競技
 - ①玉里②千代田③八郷
 - 〇一〇〇メートル
 - ①玉里②③八郷
 - 〇二〇〇メートル
 - ①千代田②③八郷
 - 〇四〇〇メートルリレー
 - ①八郷②玉里③千代田
 - 〇走り高跳
 - ①玉里②千代田③八郷
 - ①出島②八郷③出島
 - 〇三種競技
 - ①千代田②八郷③出島
 - 〇バレーボール



青年女子バレーボールの新治との決勝戦



総合優勝した町選手団に優勝旗

- ①千代田②八郷③八郷
- 〇五、〇〇〇メートル
- ①千代田②八郷③玉里
- 〇八〇〇メートルリレー
- ①千代田②八郷③八郷
- 〇三段跳
- ①千代田②玉里③八郷
- (女子)
 - 〇一〇〇メートル
 - ①八郷②玉里③八郷

「夏休みを楽しく」

リズムのある生活がたいせつ

今月二十三日から小中学校校いっせいに、こどもたちがまちにまいった夏休みに入ります。

たのしい夏休みに有意義に

夏休みというときとくに生活がルーズになりいろいろの問題になる事故がたくさん起ります。水死事故や交通事故など不注意による事故でせつかくの夏休みが暗い夏休みにならないよう、両親や周囲の人たちが心を配ってやらなければなりません。

規律をつくり正しく守る

二ヵ月近い長い休みに入る前に夏休み中のくらしかたについて、担任の先生がたからいろいろ注意もあることでしょうか、いちど親しいおかささん同志で話し合われることもたいせつです。とにかく、ルーズになりがちな夏休みを健康に安全にすごすには、やはりある程度の規律をつくって正しく守らせるようにしたいものです。

生活がたいせつ 規律というところがと強く感じますが、リズムといってもよいわけです。いちどリズムを踏みだしたら、どうせ夏休みだからと放っておくと、つぎつぎとはずれて新学期の終わりがらむっていた感覚にもどすことができなくなりますが、先生は、こどもたちの顔色や態度で夏休みをどう過ごしたかがわかるというもうそではありません。

暑さに負けない 体力づくり 夏休みというとき、高温多湿のため疲労がたまり健康を害するということが多くあります。体がだるいと食欲もおとろえ、それでもなんとかして食べようとお茶づけや冷やむぎなど、つるりとするものばかりとりがちです。これでは夏の暑さを乗り切れません。夏の暑いときにこそ抵抗力をつける栄養食をとりたいたいです。

栄養不足は偏食から

日本の子どもに不足しがちなビタミン類は、ビタミンA及びB群であるといわれますが、牛乳や卵、バター、レバー、にんじん、トマト、ほうれん草などの緑黄野菜、などがとくに必要です。発育期の子どもたちは、家庭の中でいちばん栄養の必要な人物です。

子どもの栄養のかたよりの原因の一つに、偏食があり、どのようなことからも偏食がおこるかといえます。最初にあげられるのは、両親がすでに偏食である場合が多いというこです。

両親が、「こんなまじいもの」といったり、全然「はし」をつけなかったりすれば、子どもも両親のまねをして、それを食べないようになってしまいます。偏食を防ぐには、まず両親から偏食をなくすよう心がけてほしいものです。

ゴキブリ

流しの汚水をなめたりして、ところかまわず出没するゴキブリは、大腸菌、赤痢菌、小児ヒウスイルスなど、あらゆる恐ろしい菌をまきちらします。一匹のゴキブリに、一万三千三百七十個もの細菌がついていた例さえあります。細菌をまきちらすゴキブリを徹底的に退治しましょう。

